

群会議の話題

東京土建一般労働組合
港 支 部
〒105-0014 港区芝2 30 7
TEL 03(3451)6673
FAX 03(3451)6643

福田首相が辞任表明 自公政権2代続けての政権放棄

福田首相は1日夜「新しい布陣の下で政策の実現を図らねばならない」と述べ、辞任を表明しました。衆議院解散・総選挙の時期やインド洋での給油継続のための補給支援措置法の延長をめぐる公明党との対立、対決姿勢を強める民主党との間で「ねじれ国会」を乗り切る展望が開けず、内政でも外交でも進まなかった中での辞任です。自公政権では安倍前首相に続き2代続けての政権投げ出しとなり、自公連立政権の行き詰まりが明確となり、自民党政権の末期的姿を象徴しています。福田首相は、景気対策を含む総合経済対策

新テロ特措法延長、消費者庁設置、先の通常国会からの継続法案 - としていましたが、これらの政策課題は、与党内、与野党間でも大きく意見が別れ調整がつかない課題が多く、難問山積といえます。

しばらくは、自民党総裁選挙が国民やマスコミの耳目を奪われることとなりますが、「資材高騰・建設不況」打開、「新テロ特措法延長・海外派兵恒久法」反対、「高齢者医療制度」中止、「消費税増税策動」粉碎を求める反対署名と宣伝行動などの推進が重要となります。

景気悪化が鮮明に、生活不安と企業倒産が増加

政府の8月の月例経済報告は、景気判断を「弱含み」に下方修正し、戦後最長の景気回復が終わり、景気後退局面に入ったとの判断を示しました。今回の景気拡大は、賃金抑制と下請単価の切り下げなど徹底したコスト削減で、輸出を中心に大企業が空前の儲けをあげたもので、庶民と中小企業にとっては「実感なき景気拡大」であり、「新たな格差と貧困化」の拡大でもありました。「企業部門の好調さが、家計部門に波及する」という従来の経済政策の誤りを事実上認め、多国籍企業中心の新自由主義的な経済政策から、国民・中小事業所中心の内需拡大型へ、抜本的な政策転換が求められます。財界いなしの対策ではなく「国民目線」

「国民の不安や痛みに向き合っていく」姿勢に転換しない限り、有効な対策は期待できません。

全国の7月の負債額1千万円以上の企業倒産(東京商工リサーチ)は、建設と不動産などが今年最多、月間でも今年最多の1,372件と、深刻さを増し、中小零細企業の困難が際立っています。

8月も卵や乳製品など食料品の値上げが止まらず、ガソリンも高止まりのままです。6月の完全失業率が2006年9月以来の4.1%に悪化(総務省・労働力調査)しています。景気対策の中心は、国民生活と中小企業にあることは明らかです。その中でも、資材高騰の緊急対策と家計への支援が急務になっています。

「建設不況」の様相がくっきり、厳しさ増す建設産業めぐる情勢

建設業者の倒産件数が、過去最悪の324件(08年7月)を記録しました。要因は、国と地方自治体の財政状況悪化に伴う公共工事量の大幅減少、熾烈な低価格受注競争が地方の工事にも広がったこと、マンション市場の業況悪化、建築基準法「改正」による着工遅れ、原油・資材高騰の価格暴落が困難になっている問題、サブプライムローン問題に端を発した金融機関の貸し渋りなどが考えられます。とりわけ経営基盤の弱い中小建設業と下請業者に深刻な影響が及ぼされ、実績ある建設企業

の倒産が相次ぎ、建設産業は市場の急速な縮小と極端な仕事(受注)不足状態に陥っています。一方では遅れていた建築確認が出され始め、工期短縮・長時間過密労働、技能工不足、資材納入遅延などの混雑が発生し、安全面や契約関係にさまざまな問題・トラブルが発生することが予想されます。

資材・燃料も高騰し、中小業者の価格暴落は事実上困難であり、赤字契約が常態化しています。ガソリン高も深刻です。

組合未加入の仲間を紹介してください！

スタートダッシュの成功と節目目標突破を軌道に乗せ9月40%到達に全力を！

構造改革路線の悪影響がもろに表面化し「建設不況(建設危機)」に突入という局面を迎え、「建築基準法不況」が回復しないまま公共事業の縮小と市場淘汰の激化、原由高による建設資材と諸経費の高騰、金融の「貸し渋り」「貸しはがし」からくる建設投資削減や住宅の買い控えなど、仲間の仕事とくらしを守り、国保予算要求闘争の前進などの諸課題に全力をあげます。

2008年秋の拡大月間で東京土建は、建設不況に立ち向かい、建設労働者の「夢」(建設労働者の

拡大目標

9 - 10月の目標 = 1月当初人員の5%(支部目標70人)以上とします。

芝：7人、麻布：6人、白金：6人、新橋：6人、事業所：36人、事務所：7人、大島：2人、

統一行動日の日程(基本18日間)

【9月】第1次 = 11・12日(木・金)

第2次 = 17・18・19日(水・木・金)

第3次 = 25・26日(木・金)

第4次 = 29・30日(月・火)

多数派・労働協約の実現)と「希望」(社会的地位の向上、資本・現場闘争の前進)の実現、「安心」(労働環境・公的補償と助け合い制度)して働ける建設産業めざして、1500人支部実現に全力をあげることにします。「13万の仲間が最大のメリット(宝)」「不況との時こそ、仲間の助け合い(日本一の助け合い制度)」「明るく、楽しく、元気よく。そして仲良く」を合言葉に、励まし合い、競い合い、助け合って意気高く新しい峰をめざして、仲間とともに意気高く踏み出そう。

【10月】第5次 = 10月9・10日(木・金)

第6次 = 15・16日(水・木)

第7次 = 22・23日(水・木)

第8次 = 28・29・30日(火・水・木)

事業所の仲間や新しい仲間へ依拠し、全分会達成に挑戦しよう！

今回の月間は、近年経験していない「不況下での拡大」となることから、とりわけ全分会が目標達成に不退転の決意を固め、分会が一枚岩の取り組みとして大きく飛躍させることが何よりも重要となります。全分会がその対策を抜本的に強化するようにします。

野丁場関係の若手従事者や事業所の仲間、加入3年位までの新しい仲間、さらに利用業務などから有力組合員の情報を集め、分会役員(群まかせとせず、分会四役の責任)による徹底した訪問行動を推進します。「未結集」や「つながりの薄い」仲間へ、積極的に接近する方針を練り上げましょう。

組織内事業所への協力要請で、対象者の紹介運動に取り組みましょう！

組織内事業所からの「対象者(新規事業所や外注労働者)の紹介」を徹底して要請しましょう。訪問と9月25日の経営セミナーの開催を軸に、事業所の協力を引き出す運動に発展させます。

組織内事業所に依拠した訪問行動を

組織内事業所の情報を(業種・丁場・従業員数と未加入者数・外注の有無など)集め優先的に対話訪問をすすめます。事業所訪問では、「事業所ニュース」を活用し、手配請、下請け、同業などの「対象者紹介活動」発展につなげます。

13万の魅力と実績を前面に協力要請を

事業所への訪問では、経費削減による「経営の安定にさらに役立つ組合」、「大手資本に対する下からの声を強めて産業民主化をはかる」現場対応業務、福利厚生、どけん火災・自動車共済など事業所向けメリットと従業員向けメリットの両方を押し出し、業務利用を大きく広げ、さらに「土建国保を守りぬく」ことなど、拡大月間の意義と必要性を訴えて「より積極的な紹介運動」を広げていきましょう。

ポスター大作戦を全分会の奮闘で成功させましょう

3種(青年・子育て・事業所)・各10枚を、分会が担当する地域にいっせいに貼り出しましょう。

分会で大量宣伝(手配りチラシなど)を実施しましょう

統一行動や現場を移動する際に、全世帯向けの手配りによるチラシ配布を実施しましょう。

当面の集会や宣伝行動、学習会にご協力ください！

9・29生活危機突破、緊急中央決起集会
ガソリンや建築資材、生活物資の高騰が影響し、建設企業の倒産が急増し賃金・単価が危機的な状況に追いやられているなか、現状打開を求めて全建総連の緊急決起集会が開催されます。
[と き] 9月29日(月)午後1時開会
[ところ] 社会文化会館
[参加要請] 各分会2人
国民大運動実行委員会の国会行動
[と き] 10月1日(水)・事務所分会、
10月15日(水)・芝分会、
10月29日(水)・麻布分会、
[ところ] 衆議院第二会館前(正午集合)
[参加要請] 各分会2人の参加をお願いします。
都議会開会日行動
[と き] 9月18日(木)正午集合
[ところ] 都庁第一庁舎(知事室前の歩道)
[参加要請] 白金・新橋の各分会から各3人の参加。
「11・13なくせ貧困！生活危機突破・中央決起集会(仮称)」・省庁交渉
[と き] 11月13日(木)午後開催(詳細は後日)、
[ところ] 日比谷野音 時間など詳細は後日、
[参加要請] 支部2% (各分会6人)
港春闘共闘などによる9の日宣伝行動
各分会3人のご協力をお願いします
10月9日(木)午後6時～7時・JR田町駅三田口、
11月7日(金)午後6時～7時・新橋駅日比谷口、
12月8日(月)時間・場所・参加要請未定

南山フェスティバル
[と き] 9月27日(土)午前11時～午後3時、
[ところ] 南山小学校校庭
[内 容] モザイクタイルの工作
[参 加] 麻布分会に8人の協力を要請します。
みなと区民まつり
[と き] 10月11日(土)午前9時～午後5時、
12日(日)午前9時～午後5時
[ところ] 区立芝公園
[内 容] モザイクタイルの工作と住宅相談
[参 加] 両日ともに、各分会5人の参加を
東町こどもカーニバル
[と き] 10月18日(土)午前11時～午後1時、
[ところ] 東町小学校校庭
[内 容] モザイクタイルの工作
[参 加] 麻布分会に8人の協力を要請します。
港南小学校でのふれあい活動
[と き] 10月25日(土)午後1時40分～3時、
[ところ] 港南小学校の教室、
[内 容] モザイクタイルの工作
[参 加] 芝分会に6人の協力を要請します。
消費生活展
[と き] 10月25日(土)午前9時～午後5時、
26日(日)午前9時～午後5時
[ところ] リーブラ駐車場
[内 容] 包丁研ぎとまな板けずり、住宅相談
[参 加] 各分会に別途要請します。

9月～10月は東京都へのハガキ要請行動にご協力下さい

国保組合特別助成の概算要求は281.5億円(+0.5億円)に
厚労省は、平成21年度の国保組合特別助成について、昨年度比0.5億円増の281.5億円の概算要求を財務省に提出し、概算要求の増額という第一ハードルを越えました。

これからは、東京都の補助金獲得の運動が山場を迎えます。
国の特別助成は、年末の予算編成にむけて概算要求の満額確保が中心課題となります。

9月～10月の予算要求闘争は、東京都への「ハガキ要請」に1人1シートを目標に取り組みます。

9月～10月は自動車共済の見積運動、

11月～12月はどけん火災共済の加入促進月間

どけん火災共済の加入促進月間は28件(各分会4件)を目標に取り組みます。どけん火災共済の加入は、組合員の経済的支援、万が一の安心の保障、仲間の助け合い・共済活動の前進、充実の基盤の強化、制度利用の促進で脱退を防止することを目的にしています。

自動車共済の見積運動は14台を目標に取り組みます。「大きな経費削減」が魅力となっています。

知って、知らせて、得する、組合員のお知らせコーナー

じん肺キャラバン行動にご協力下さい
首都圏建設アスベスト訴訟の支援も訴えます。
東京出陣行動(対都・労働局要請)

[と き] 10月2日(木)午前10時開会、

[ところ] 東京労働局前

[参加要請] 白金分会2人

東京集結決起集会

[と き] 10月20日(月)午後6時30分開会、

[ところ] 四谷区民ホール(新宿御苑下車5分)

[参加要請] 新橋分会・芝分会から各2人

じん肺キャラバン国会請願行動

[と き] 10月21日(火)正午集合、

[ところ] 日比谷公園霞門(丸ノ内線・霞ヶ関下車)

[参加要請] 各分会2人のご協力をお願いします。

取り調べ可視化を求める請願署名

刑事事件の取り調べの全過程を録画し、虚偽の自白による冤罪を防ぎ、裁判の長期化・複雑化を避けるために取り調べの可視化を求める請願署名を行います。

[署名枚数] 各群1枚

[取り組み期間] 9月の群会議、9月22日締切り、

後期高齢者医療制度廃止法案可決への署名

臨時国会での大きな政治課題となる「後期高齢者医療制度廃止法案」(全都連絡会)の可決を求める請願書を9月に取り組みます。東京都ハガキ要請と重複しますが、土建国保をまもり抜くためにも社会保障改悪を許さない運動を並行してすすめることの大切さを理解し、署名活動に取り組みます。

大衆増税に反対する定例宣伝行動

[と き] 9月24日(水)午後6時00分～1時間、

[ところ] 田町駅三田口コンコース、

[参加] 各分会3人のご協力をお願いします。

消費税廃止港各界連絡会・情勢学習会

社会保障の財源論としての消費税増税問題を、講師に梅村早江子さん(消費税をなくす全国の会事務局長)を迎えて開催します。希望するすべての組合員と家族の参加をお願いします。

[と き] 10月27日(月)午後7時開会、

[ところ] 東京土建みなと会館

[参加要請] 執行委員と分会税対部長

無料経営相談(要予約、申込みは本部税対部)

9月17日(水)、10月22日(水)

前進座・秋の公演の案内

演目は『解脱衣楓累(げだつのきぬ もみじがさね)』
鶴屋南北の作品を前進座が本邦初上演した前進座のオリジナル演目です。

[と き] 10月19日(日)午後4時30分開演

[ところ] 前進座劇場

[観劇料] 5,000円(東京土建特別割引と支部援助含)

経営セミナーの開催

事業所分会の事業主や組合の窓口を担当している組合員を対象に「経営セミナー」を開催します。テーマは、労務管理です。

[と き] 9月25日(金)午後3時開会、

[ところ] 東京土建みなと会館3階会議室、

[参加要請] 事業主や組合の窓口担当の組合員

セミナー終了後、懇親会を予定しています。

新組合員教室の開催

保険証の交付と組合の事業案内

[と き] 9月29日(月)午後7時00分開会、

[ところ] 東京土建みなと会館

港勤労者サービス公社の「寄席」の案内

[と き] 10月10日(金)午後6時開会、

[ところ] 国立演芸場(国立劇場隣)、

[費用] 1,000円(支部援助含む)

